

社会福祉法人こころみる会役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人こころみる会(以下「この法人」という。)の定款第9条および第23条の規程に基づき、役員及び評議員の報酬並びに費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 評議員とは、定款第5条に基づき置かれる者をいい、前号の役員と併せて役員等という。
- (3) 報酬とは、法第45条の8第4項で準用する一般法人法第196条、16第4項で準用する一般法人法第89条、18第3項で準用する一般法人法第105条で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職慰労金である。費用とは明確に区分されるものとする。
- (4) 費用とは、職務遂行に伴い発生する交通費、旅費、日当等の経費をいう。

(報酬の支給額等)

第3条 役員等が評議員会、理事会等に出席した場合には、役員が法人職員であっても1人1回につき¥3,000(源泉徴収後)を報酬としてその都度現金支給する。但し、役員が理事会と同日の評議委員会に出席した場合はこの限りではない。また、その職務を行うために要する費用を弁償することができる。

(費用)

第4条 この法人は、役員等がその職務遂行に当たって負担した費用については、別に定める旅費規程に基づいて、請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うことができる。

2 役員等には、法人の用務で出張に要する旅費(旅行雑費、宿泊料、日当等を含む)を、別に定める旅費規程等の支給要領に準じて支給することができる。

(改廃)

第5条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

(補則)

第6条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を経て、別に定める。

附則

この規程は、改正社会福祉法(平成 29 年 4 月施行)に係る定款承認後施行する。

この規程は、一部を改正し平成 29 年 6 月 24 日から施行する。

この規程は、一部を改正し平成 30 年 3 月 18 日から施行する。